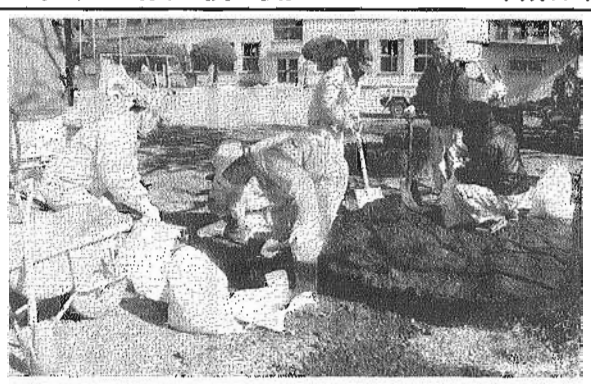
開聞建設組合ボランティア
開聞小のグラウンド整備

開聞建設組合（新吉一秀組合長）は4日、開聞町の開聞小学校のグラウンド整備をボランティアで実施した。



懸命に作業を進める会員たち＝開聞町の開聞小学校で

ボランティアは、約2400㎡にも及ぶグラウンドに海砂を搬入しての整地、老朽化した遊具の撤去、隣接グラウンドとの境にあたる法面部の補修を中心に、ダンプ4台、タイヤローラー、散水車などが導入された。

鎌迫正寛氏（鎌迫仮枠代表）による進行の中、新吉組合長が「子供らに安全で安心して明るい環境で遊びと勉強に励んでいただくためにも、今日一日精一杯頑張ってほしい」と挨拶。また、鶴田七郎校長から「卒業してもなお、同校を愛する気持ちに敬意を表したい」と感謝の言葉が贈られた。

永吉伸一郎氏（永吉建設社長）の指示により作業に取り掛かり、会員らの懸命な作業によって、作業終了時にはきれいに生まれ変わったグラウンドが姿を現した。

参加会員は、㈲阿萬建設、開成建設、鎌迫仮枠、坂元造園、㈲幸福住建、㈲東興建設工業、㈲中村組、永吉建設㈱、㈲西元産業、㈲福永工務店、㈱丸新建設、三村産業㈲。

川内隈之城愛好会クリーン作戦
40歳台が活動の先頭に

川内隈之城愛好会（福重安治会長、会員49人）は3日、会員と子供たちも参加して第3回隈之城地区クリーン作戦を実施。隈之城川の堤防や地域内の道路のごみや空き缶、道路標識、ロードミラー清掃等の活動をした。集めたごみは軽トラック5台分にもなった。

子供たちも参加して行われたクリーン作戦＝薩摩川内市の隈之城川で

プラッセダイワ隈之城店駐車場で出発式を行い、福重会長（㈱福重電工）の挨拶の後、吉満祐市会計（㈱吉満組）が作業内容と注意事項について説明。各班に分かれて2時間ほど活動した。

参加した会員は「会員の平均年齢が40歳台。地域が高齢化するなか、私たちが先頭に立って活動すれば、次世代にもこの活動がきちんと継承されていくと思います」。また女性会員は「一人でやろうとすれば、少し気恥ずかしく躊躇（ちゅうちょ）します。皆で毎年活動したせいか、今年はごみが少ない気がします」と話していた。

同会の活動の成果、じわじわと地域に浸透してきたようだ。

川薩電気工事工業協組青年部
奉仕作業 交通ミラー清掃

川薩電気工事工業協同組合青年部（関雄太部長）は2日、さつま町（旧宮之城町・旧鶴田町・旧薩摩町）で通学路周辺の交通ミラー清掃をした。

記念写真に納まる組合員ら＝さつま町の宮之城ひまわり館で

同組合は4支部（川内・串木野・入来・宮之城）102社が加盟。地域の社会福祉へ貢献するため毎年2回、高齢者住宅無料点検や交通ミラー清掃の活動を続けている。

宮之城ひまわり館で出発式を行い、関部長（㈲関電気商会）は「児童の交通事故撲滅のためにお手伝いできればと始めた活動も今年で10回目になります。一つ一つていねいに磨き、自分たちの心もピカピカに磨いていただきたい」と挨拶。

親組合の福重安治理事長（㈱福重電工）、潟永敏弘串木野支部長（㈲大興電設）、永江武治宮之城支部長（㈲永江電気・水道商会）も応援にかけつけ「精力的な青年部の活動に感謝申し上げる」と礼を述べた。田原繁会計担当（㈲田原電設）が作業内容について説明した。

活動後は作業個所ごとに点検報告書を作成、不具合個所等については設置管理者に報告する。

環境美化の輪広がる
早朝に道路清掃活動
平山商会

㈱平山商会（郷式千鶴社長、出水市）は1日、早朝5時半から高尾野営業所に社員とその家族、子供たちが集まり中間処理場周辺の道路清掃活動をした。同社では4月と8月の年2回、同活動を実施。昨年11月ISO14001認証取得したのを機会に基本方針にも位置付けた。

平山政壱統括事業本部長は「わが社のISO14001環境方針に基づく活動に早朝から参加していただきありがとうございます。私どもの企業活動は地域の人たちの理解があって成り立っています。地域への恩返しの気持ちをもって環境美化活動に取り組んでいきましょう。世間は今日から新年度。ボランティアのすがすがしい気持ちを抱いて今年1年取り組んでいただきたい」と挨拶。

活動には社員の家族や子供たちも毎回参加する＝高尾野町の同社営業所で

2班に分かれて約1時間半、ビニール袋を片手に歩道や道端に捨てられた空き缶等を拾い集めた。

この日、同社の活動を知った近くの企業の社員5人も参加。深谷透常務は「地域に環境美化活動の輪が広がってきたようです」と喜んでいた。

ショウルーム鹿児島オープン
快適な生活を提供
ナショナルリビング

生活空間体験型ショールームとして「ナショナルリビングショウルーム鹿児島」（中嶋和久所長）が4日、新装オープン。関係者の見守る中、松下電工㈱住建マーケティング本部熊本住設建材営業所の田辺英樹所長らがテープカットを行いオープンを祝った。

テープカットを行う関係者＝鹿児島市の「ナショナルリビングショウルーム鹿児島」で

同ショールームは、松下電工㈱と松下電器産業㈱双方の技術力を結集して開発した住宅関連や家電などのナショナル製品（約200点）を展示。同時に電化や防犯、省エネ、免震・耐震などの相談や住まいの設備と家電製品のトータルバランスなど家づくりのアドバイスも行う。

セレモニーでは、田辺所長が「一体化した一つのナショナル流通ユーザーとして、幅広い商品や情報、技術を提供しながら総合メーカーを目指したい」と挨拶した。

問い合わせは、鹿児島市新栄町18－2（☎099・255・5335 FAX255・5352）へ。

マリンポート在り方検討委
2工区埋立てなしの方向性説明
高波護岸建設の必要も

県民からの幅広い意見や提言を反映させる第3回「マリンポートかごしまの在り方検討委員会」が5日、鹿児島市の県庁会議室で開かれ、1期2工区を埋め立てない場合の方向性や今後の事業の進め方など活発な意見が出された。

初めに前回（第2回）の検討委員会議事録の確認が行われ、出席者全員が間違いのないことを了承した。続いてマリンポートかごしまの整備について事務局から説明があり、一期2工区を埋め立てないで、2工区の護岸を撤去した場合に要する費用が91億円。1工区の埋め立て地を高波から保護するための護岸建設に46億円が新たに必要となることを説明。

活発な意見が出された検討委員会＝鹿児島市の県庁で

さらにマリンポートの建設は、災害発生時における一時非難場所や緊急物資搬入スペースとしても機能するもので、駐車場の一部はヘリコプターによる緊急避難や離島からの急患輸送の受け入れ先としても対応できることを説明した。

次回の同委員会（第4回）は、5月12日を予定している。

加藤氏が死去
きょう、告別式

加藤淳一氏（県積ブロック工業組合理事長）が4日、死去した。享年51歳。告別式はきょう6日午前11時30分から、薩摩川内市樋脇町塔之原6962－8の自宅で執り行われる。喪主は加藤ミス工氏。

曳家（ひきや）工事・解体工事
土木一式工事・建築一式工事
株式会社 大城
県知事許可（特－12）第4087号
本社 鹿児島市宇宿町1955-1 ☎(099)275-3600㈹
下荒田事務所 鹿児島市下荒田1-18-2 ☎(099)254-3938番

購読料のお支払いはお手軽で便利な自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

県建設業協会宮之城支部総会

行政と新枠組づくりを

IT化の推進などを決めた総会＝薩摩川内市のホテル祁答院で

県建設業協会宮之城支部（白川田廣八支部長）は17日、薩摩川内市祁答院町のホテル祁答院で17年度第44回通常総会を開き、事業計画等を原案通り承認した。また同日第34回宮之城建設業協同組合総会もあり、同じく原案通り承認した。総会後は発注機関から来賓を迎え懇親会を開いた。

白川田支部長は「県の財政構造改革プラグラムによる影響で、工事高・従業員数は平成10年の水準を5割割り込むところまできた」と厳しい現状を報告。「そういう中、新さつま町がスタートした。建設業再生のため社会資本整備の担い手である私どもが行政と一緒になって新しい枠組みに積極的に参画・加担していく必要がある。あと1、2年が辛抱の時期かと思われるが、皆さんと一致協力して難局を乗り切っていきたい」と挨拶した。

堀之内正和氏（㈱入来建設）を議長にIT化の推進、事業後継者育成・若年従業者確保、新分野進出支援対策等の事業計画を決めた。支部監査報告は下土橋憲一監事、組合監査報告は松田俊一監事。

冒頭、永年勤続従業員8人の表彰があり、下野房義氏（㈱二渡建設）が代表して謝辞を述べた。

永年勤続従業員表彰は次の通り。

原田和男（㈱久保興業）松山義春（㈱久保興業）岩下義一（㈱笹田建設）下野房義（㈱二渡建設）神園光紀（㈱入来建設）中島和義（㈱薩摩工務店）羽有俊三（有益山建設）山元ユウ子（松田建設㈱）

県建設業協会大口支部総会

公共事業の増額要請

県建設業協会大口支部（藤井和三郎支部長）及び大口建設業協同組合（同理事長）は17日、大口市の大口グリーンホテルで17年度通常総会を開き、公共事業予算増額要請や公共工事平準化対策推進等の新年度事業計画を決めた。

総会の冒頭、藤井支部長は「業界を取り巻く環境の活動に率先して取組み、互いに努力、工夫して、共にこの難局を乗り切っていこう」と挨拶。続いて鍋倉清武氏（㈱鍋倉工務店）を議長に議事に入った。

議案審議では、16年度事業報告並びに収支決算、17年度事業計画案並びに収支予算案を執行部原案通り可決承認した。

一致団結し難局を乗り切ろう　と挨拶する藤井支部長＝大口市

新年度事業計画は、①公共事業予算の増額要請（公共事業の掘起こし）②公共工事平準化対策の推進③設計積算の適正化の推進④労働災害防止対策の推進⑤建設業理解対策の推進⑥建設及び耕地技術者研修会の実施⑦若年者現場研修の実施

県積ブロック工業組合総会

積・基礎ブロック等利用促進決める

県積ブロック工業組合（本田義道理事長代行）は17日、鹿児島市のベイサイドガーデンで第32回通常総会を開き、積・基礎ブロック、マザーズロック等の利用促進などを柱とする新年度事業計画を決めた。

総会に先立ち、故・加藤淳一理事長のめい福を祈り黙とうを捧げた後、中西伸一前理事長が「昨年度は積・基礎ブロックとも前年度並み、マザーズロックも各地域に広がりつつある。さらにPRをお願いしたい。今後も組合員相互の信頼を高め、災害に貢献できるよう努めていきたい」と挨拶。

引き続き、松田祐治氏（有）大口コンクリート工業）を議長に議事に入り、17年度事業計画・収支予算案などを審議し原案通り承認。また役員補充では、理事に柳迫勝美氏（薩摩産業㈱）と久保哲氏（㈱サンエイ）を選任した。

新年度事業計画は、①積・張ブロックの適正価格への引き上げ②積・張ブロック、基礎ブロック、マザーズロックの利用促進③工場検査の実施と技術研修会の開催―など。

また同日は、15年以上長期勤続従業者表彰も行われ、黒葛平昭夫氏（コーアツ工業㈱）と上田等氏（㈱浦上ブロック工業㈱）に表彰状と記念品が授与された。

マザーズロック普及促進などを決めた総会＝鹿児島市のベイサイドガーデンで

県瓦工事業組合総会

英知結集し前進を

県瓦工事業組合（池堂龍一理事長）は17日、鹿児島市のKKRかごしま敬天閣で17年度定期総会を開き、強化棟工法研修会の実施や福岡県西方沖地震の復旧支援などを盛り込んだ新年度事業計画等を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では池堂理事長（薩南工業㈱）を再選した。

総会の冒頭、池堂理事長が「昨年は創立50周年を迎え、一つの区切りがばならない。瓦業界も依然厳しい状況下にあるが、英知を結集し前進していこう」と挨拶。

続いて、議長に内村幸男副理事長（有内村工務店）を選出し議案審議に入り、16年度事業・決算報告、17年度事業計画・収支予算案を審議した結果、全て原案通り可決承認。また、任期満了に伴う役員改選では池堂理事長の続投及び新執行部体制を決めた。

新執行部体制等を決めた総

②福岡県西方沖地震復旧支援③かわらぶき技能講習会の実施④8月8日の屋根の日に組合のPRを兼ねたイベントを開催―など。

新役員は次の通り。

理事長＝池堂龍一▽副理事長＝原口修二（原口高圧瓦㈱）内村幸男　野口誠（野口瓦工業㈲）▽理事＝竹ノ内貞文（太陽セメント瓦工場㈲）泊博幸（共同建設㈲）末吉敏明（㈱太陽建材）平山信幸（平山ルーフ瓦工業㈲）内山和吉（㈲吉起殖産）日高靖典（㈲日高建設）三反田政行（㈲三反田粘土瓦工業）▽顧問＝浜崎事務（浜崎建

簡易吹付法枠協会鹿児島分会総会

7月 九州支部技術研修会

簡易吹付法枠協会九州支部鹿児島分会（上園勉分会長）は16日、鹿児島市の御馳走亭かわかみで17年度通常総会を開き、技術研修会の開催や官公庁請願活動等を盛り込んだ新年度事業計画を決めた。

総会の冒頭、上園分会長が「厳しい環境を乗り切っていくには、互いの知恵を結集した"プラスα"の事業が必要。受注機会の拡大に向け、さらなる知識と技術力向上に努め、会員一丸となって事業に取り組んでいこう」と挨拶。

議事では、上園分会長を議長に全4議案を審議。16年度事業・収支決算報告ならびに17年度事業計画・収支予算案を全会一致で可決承認するとともに、重点事項として今夏の九州支部技術研修会の開催を挙げた。

官公庁請願活動などを決めた総会＝鹿児島市の御馳走亭かわかみで

新年度事業計画は、官公庁への請願活動（6月・9月）、九州支部技術研修会の開催（7月）―など。

県環境保全協会加世田支部総会

合併処理槽の転換推進

県環境保全協会加世田支部（鳥越澄夫支部長）は13日、長崎県平戸市の平戸千里ケ浜温泉で27回通常総会を開き、新年度事業計画などを決めた。

総会の冒頭、篠原義明副支部長（有篠原商会社長）が「当支部も地域に根差した事業の在り方を考えながら、それを実践していける技術者集団となるよう技能・技術の研さんに努めながら取り組んでいこう」と挨拶。続いて、薗田健造氏（薗田建設企業組合・代表）を議長に選出して議事に入り、16年度事業報告並びに収支決算・監査報告と17年度事業計画案並びに予算案を執行部の原案通り可決承認した。

新年度事業計画は、①浄化槽設置整備事業の円滑な実施を支援する②既設単独浄化槽の合併処理槽への転換を推進③適正な維持管理の徹底を図るため、設置者に対する啓発に努める―など。

また、総会後には鹿児島県検査センターの検査部検査一課加世田保健所駐在の森田隆弘検査員が「法定検査結果について」と題して、使用開始検査（法第7条）、定期検査（法第11条）の結果を、地区別検査基数や型別・人槽別判定結果など統計数値を基に説

新年度事業計画などを決めた

購読料のお支払いはお手軽で便利な
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ